

## 最近の CIIA®近況報告

2008年3月29日 ASAF（アジア証券アナリスト連合会）の理事会がベトナム・ハノイで開催されました折、当協会専務理事萩原清人氏（ACIIA 会長）が ACIIA・CIIA の近況報告をしました。下記はその報告要旨です。

### （アジェンダ 7.1 - ASAF Hanoi での ACIIA/CIIA レポート）

2008年3月29日

ACIIA ならびに CIIA につきましては、昨年 11 月のニューデリー会議で詳しく報告しておりますので、本日は、その後の動きに絞って、簡潔に報告します。

#### 1. (ACIIAメンバー数と新規加入への働きかけについて)

まず ACIIA のメンバー協会数は、ASAF・EFFAS を含め 30 協会です。昨年 11 月以降変わっておりません。そうした中で、今月に入り、チュニジア協会が、教育プログラム(national specific exam program)のアクレディテーションを取得しましたので、近い将来 ACIIA に加盟し、CIIA 試験の受験生を送ってくると思います。このチュニジアのほか 10 以上に及ぶ世界各地の協会が CIIA に関心を示しており、順次参加してくるものと期待しています。

#### 2. (CIIA 受験者・CIIA 保有者状況)

CIIA 試験の実施状況ですが、これまで 2 連合会を除く 28 の個別メンバー協会のうち、23 協会が CIIA 最終試験を実施し、CIIA 取得者数は 2007 年 9 月試験までで 3,863 名となっています。

今月実施した CIIA 最終試験 (final exam) は、16 の協会が試験を実施し  
受験者数はユニット数で 1,627 でした。ASAF メンバーでは、中国、Chinese  
Taipei、韓国、香港、インド、イラン、日本の 7 協会が CIIA 試験を常時  
実施しております。なお、タイ協会は ACIIA メンバーですが未だ CIIA 試  
験を実施していません。

### 3. (JAM : Journal Asset Management について)

3 点目は、Journal of Asset Management (JAM) についてです。JAM は、  
アセットマネジメント分野の専門誌で、世界中から論文の寄稿を得て発行  
される季刊誌です。昨年 5 月、ドイツ協会の Managing Director Dr. Peter  
Koenig の紹介で、この専門誌に ACIIA/CIIA の特集号として論文を掲載  
しないか、との話があり、この際積極的に取り組もうとの判断に至りまし  
た。論文は 7 編で香港、インド、日本、ヨーロッパの実務家、学者から寄  
稿を得ており、本年の 6 月号として ACIIA 特集号が発行される予定です。  
これらの内容の濃い論文が JAM の ACIIA/CIIA 特集号として発行される  
ことは、ACIIA/CIIA にとって極めて有効な情報の発信、PR になると期待  
しています。

なお、昨年 11 月からホームページも一新されており、かなり見易いもの  
になっています。また Newsletter については本年 1 月号が最新ですが、  
もしまだご覧になっていない方は、是非一度眺めてみて下さい。ASAF メ  
ンバーのニュースもかなり掲載されています。

### 4. (ACIIA 事務局体制)

4点目は、ACIIAの事務局についてです。2006年10月採用のMs. Fiona Tweenをマネジャーとし、その配下のスタッフとして、昨年11月に追加採用した女性が今年の1月に早々と退職するという結果になりました。加盟協会の増加に伴う事務量の増大等に対応していくためには、事務局のスタッフとして二人はどうしても必要であり、改めて4月初旬から英国人女性を採用することになっています。これにより、また皆様のご協力とご支援を得て、ACIIAの本部機能が強化され効率的に運営されることを期待していますので、よろしく申し上げます。

#### 5. (ACIIA 今後の予定)

最後に、今後の予定ですが、本年6月26日から28日にかけてパリでACIIAのCouncil Meeting、Annual General Meetingなどが開催されます。また11月にはアルゼンチンのブエノスアイレスで中間のCouncil Meetingを予定しています。ACIIAメンバーの皆さんは勿論、メンバーでない協会もオブザーバーとして是非ご出席下さい。

以上